

**平成24年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1001

施設名	伊丹市立文化会館（いたみホール）		
施設の設置目的	市民の芸術、文化活動を推進し、文化の発展を図る。		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	242,300	今年度の実績値 223,698

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H20	H21	H22	H23	H24 (上期)	H24 (通期)
	来館者数 (人)		229,671	222,413	205,609	223,985	216,460	95,829
貸し室稼働率 (%)		47	50	47	49	47	44	49
延べ事業開催回数(回)		35	35	34	32	33	13	32
延べ事業参加者数(人)		21,999	35,217	41,814	39,606	34,299	15,468	42,786

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成24年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	147,772	指定管理委託料	147,772
	事業収入(公演収入等)	35,208	事業収入(公演収入等)	33,579
	利用料金	45,232	利用料金	46,758
	合計	228,212	合計	228,109
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	44,682	人件費	44,684
	維持管理経費	142,048	維持管理経費	136,289
	事業等経費	41,482	事業等経費	38,055
	合計	228,212	合計	219,028
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	9,081

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H20	H21	H22	H23	H24	H25
	市の収入		48,304	2,476	1,954	1,789	1,755
(内、使用料収入)		46,343	0	0	0	0	-
市の支出		222,709	168,262	155,335	156,406	187,886	-
(内、指定管理委託料)		209,906	161,799	151,672	147,432	147,772	-
実質経費（歳出－歳入）		174,405	165,786	153,381	154,617	186,131	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課意見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の作業及び報告書を確認し、適宜指示を出している。備品台帳を独自で作成し、適切に管理している。修繕は予算以上の内容を工夫しながら実施。夏期の節電に努め、8月の電気使用量は前年度比12.2%減。	A	仕様書に基づき、適性に業務が実施されている。また備品管理は適切に管理されている。節電等も積極的に取り組まれ効果が上がっている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		A	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	アートマネジメント講座等、各種研修に参加し、職員の能力の向上を図っている。また、貸館対応に直結する技術研修を実施。	B	外部研修にも積極的に参加する等、運営に直結する技術研修を行い能力向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡網を作成し、年2回消防避難訓練を行っている。	B	適性に取り組まれている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	事業実施時に事業並びに施設管理に関するアンケートを行い、施設運営に反映させている。	A	事業実施時のアンケート等から利用者の意見を積極的に取り入れ効果的な事業運営が図られている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	施設の設立目的を達成するため、創意工夫を凝らした事業を実施している。	A	市民や周辺企業等との協働事業を行う等、効果的な事業運営が展開されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	ホームページ、メールマガジン、掲示板、デジタルサイネージ、FMいたみ、広報伊丹、財団情報紙、新聞、雑誌等、多様な媒体を活用し情報提供を行っている。	B	各種広報媒体を積極的に利用し、事業の情報提供を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	利用料金収入について、当初の計画を上回っている。	B	収支計画に基づき、適性に運営されている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			
施設所管課総評	利用状況や収支状況においては、概ね安定した水準で推移しており、事業運営については利用者の要望意見を分析し、利用者の目線に立った積極的な事業運営がなされている。また、地域や商店街等との協働、連携による事業を積極的に展開し中心市街地の活性化に寄与している。					

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。「-」＝当該項目での評価対象外。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果の概要

実施の有無	【アンケート実施時期】 平成24年4月1日～平成25年3月31日
有り	【回答数】 4,295名
	・館内の清掃状態について・・・「非常にきれい」 「きれい」86%
	・職員の対応について・・・「たいへん満足」 「満足」71%
	・事業の満足度について・・・「たいへん満足」 「満足」83%

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
施設利用のお客様から職員の態度や、使用方法の説明不足について苦情を受けたことに対し、対応改善をすること。	職員間で接遇について再認識を図り、直ちに多目的ホール、中ホール内に設備、備品利用の写真付き説明案内書を掲示した。